

和歌山県高校生英語ディベート大会基本ルール

- 1 本大会の出場資格は開催要項の「参加資格」及び「チーム構成」等のおりとする。
- 2 形態はアカデミック・ディベートとし、大会ルールは全国高校生英語ディベート大会ルール（全国高校英語ディベート連盟 <http://henda.global/>）を参考とする。
- 3 大会形式はトーナメントとする。
- 4 スピーチは次のような順番と時間で行うものとする。

役割	スピーチ	時間 (分)	肯定	否定
①	Affirmative Constructive Speech (肯定立論)	4	A 1	
	Preparation Time (準備時間)	1		
②	Questions from the Negative (否定質疑)	2	A 1	N 4
③	Negative Constructive Speech (否定立論)	4		N 1
	Preparation Time (準備時間)	1		
④	Questions from the Affirmative (肯定質疑)	2	A 4	N 1
	Preparation Time (準備時間)	2		
⑤	Negative Attack (否定アタック)	3		N 2
⑥	Questions from the Affirmative (肯定質疑)	2	A 3	N 2
⑦	Affirmative Attack (肯定アタック)	3	A 2	
⑧	Questions from the Negative (否定質疑)	2	A 2	N 3
	Preparation Time (準備時間)	2		
⑨	Affirmative Defense (肯定ディフェンス)	3	A 3	
⑩	Negative Defense (否定ディフェンス)	3		N 3
	Preparation Time (準備時間)	2		
⑪	Affirmative Summary (肯定総括)	3	A 4	
⑫	Negative Summary (否定総括)	3		N 4

Total Time 42 min

- 5 チームの登録メンバーは4名から6名とし、そのうち試合出場メンバーは4名で、試合途中での交代はできない。各メンバーの役割は上表の肯定側はA 1～A 4、否定側はN 1～N 4とする上表における①～⑫の役割の内容は次のとおりとする。
- ・①と③ **Constructive Speech** を担当する者は、肯定では **Advantage** を、否定では **Disadvantage** を証明する。ただし、提示できる **Advantage**, **Disadvantage** の数はそれぞれ最大2つまでとする。
 - ・⑤と⑦ **Attack** を担当する者は、否定側は **Advantage** の問題点を、肯定側は **Disadvantage** の問題点をそれぞれ指摘する。ただし、新たに **Advantage** や **Disadvantage** を付け加えることは禁止する。
 - ・⑨と⑩ **Defense** を担当する者は、**Attack** での反論に対してディフェンス（再反論）をしながら、肯定では **Advantage** を、否定では **Disadvantage** を証明しなおす（再構築する）。
 - ・⑪と⑫ **Summary** を担当する者は、試合中に提出された肯定側の **Advantage** と否定側の **Disadvantage** の双方について反論・再反論も含めて要約を行い、それらを比較し、肯定では **Advantage** が、否定では **Disadvantage** が、それぞれ相手の **Disadvantage** や **Advantage** を上回ることを論じる。ただし、新たに **Advantage** や **Disadvantage** を付け加えることは禁止する。
 - ・②、④、⑥及び⑧ **Questions** は、質問側と応答側とが直接対話する形で進行する。質問側は、相手側が直前に行ったスピーチに対して 1)不明な点を確認し、2)議論や証拠を検証する。質問側は必ず疑問形で発言することが求められる。応答側は、基本的には質問側の質問に対して素早く的確に回答することが求められる。応答側が答えにあまりに時間がかかっている場合や、的外れな答えをした場合などは、答えをさえぎり次の質問に進むことが許される。アタック後の質疑（⑥⑧）では、原則として、相手側が行ったアタックについての質問を行う。ただし、話が相手側の立論との矛盾などに関連する場合などでは、相手の立論について質問することも許可される。
- 6 ディベーターはタイムアップとなった後、途中の文章を述べることは許される。ただし、その途中の文章も10秒以内に終わること。
- 7 各チームのディベート内で使用する **evidence** の原文のコピーとともに、出展、筆者、日付等をまとめたものを必ず持参すること。（提出を求められることがある。）
- 8 試合中はチーム内の4人以外の者とのジェスチャーを含めたコンタクトを禁止する。
- 9 試合終了後、ジャッジに対し、試合内容のアピール及び抗議をすることは禁止する。
- 10 試合中の録音、録画等は原則として禁止する。
- 11 その他詳細については全国高校生英語ディベート大会ルール（全国高校英語ディベート連盟 <http://henda.global/>）に従うこととする。